

北海道身体障害者新聞

発行人 (社)北海道身体障害者福祉協会 赤坂 勝
札幌市中央区北二条西7丁目(かてる2-7)
電話 011-251-1551
ホームページ www.hokusinkyo.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円(会費を含む)
非会員 同 2,000円

人と環境にやさしい活力ある田園都市 帯広市で 全道身体障害者福祉大会帯広大会を開催

【社】北海道身体障害者福祉協会及び(社)帯広身体障害者福祉協会主催の「第五十九回全道身体障害者福祉大会帯広大会」が十月十六日(土)十七日(日)の二日間、全道各地から七百五十名を超える方々の参加を得て、帯広市民文化ホールを会場に、盛大に開催された。同大会は、この間、地元で設置した大会実行委員会を中心となつて諸準備が進められ、当日は帯広市内の福祉関係団体やボランティアの方々を支えられ素晴らしい大会になった。

大会一日目

▼アトラクション
午後〇時五十分から、アトラクションとして、加藤流三弦会による津軽三味線演奏が豪華・盛大に披露され、見事な演奏に会場から大きな拍手を受けた。

開会

本年度の全道大会は瀧山征治副大会長の開会宣言で開会した。

初めに主催者である赤坂勝大会長(北身協会長)から、全道各地から出席された大勢の皆さんに向け御礼を申し上げたあと、帯広協会の皆さんへ大会開催に向けた大変なご努力に対し謝辞があった。その後、本大会を支援、サポートして



赤坂 勝大会長

いる福祉関係団体やボランティアの皆さんに、向けて感謝の言葉があった。続いて参加者全員に向け「どうぞ、この機会に皆さんが平素、心の中で思っていることを解禁していただいで、色々なご意見を活発に行なつていただきたい。そして明日の私も障がい者の生き方というものを明確にしたい。ただきたい。協会としても、本大会で議論されたことを踏まえ、役員一丸となつて英知を引き出し「共生社会」実現のた

全体会議

続く全体会議には、瀧山征治副大会長が議長に選出され、会議が始まった。助言者として出席した北海道保健福祉部福祉局長が「保健福祉課地域支援グループ北山浩之主任が紹介され、その後、和田真一北身協事務局長から「第五十八回夕張大会要望事項処理報告」が行われた。

講演

講演は、午後二時十分から医療法人社団博愛会理事長細川吉博様から「福祉と街づくり」と題して講演が行われた。



細川吉博理事長

分科会

午後三時二十分からは総合・肢体・聴覚分科会(議長田中政田一美北身協副会長・堂前文男同理事)と視覚分科会(同森正

裕道視連副会長・村瀬稔幸同理事とに別れ、審議が行われた。

総合・肢体・聴覚分科会

事前に提出があった「①コンビニエンスストアのバリアフリー化、②繁華街における障がい者用駐車スペース確保、③障害基礎年金の増額」に加え、会場から提案があった「①月に一度で相談を聞いてくれる訪問制度を作つて欲しい。②十五歳から障害基礎年金から普通の年金になるがその場合も増額して欲しい。③一般の人でも航空運賃が相当安く購入できるから障がい者の航空運賃も半額として欲しい。④会員減少が加速し高齢化していることから改善方策を考えて欲しい。」という要望事項について、審議が行われ、何れも提案通り、明日の全体会議に諮ることが決められた。その後、北身協和田事務局長が北海道から預かった要望事項に対するコメント要旨を読み上げ、分科会を終了した。



総合・肢体・聴覚分科会の議長団

視覚分科会

事前に提出があった「①介護保険の認定項目を視力障がい者に合った内容に改善すること、②健常者に障がい擬似体験の機会を多く提供すること、③各公共施設等に音声による誘導装置を設置すること、④視覚障がい者にも在宅投票(点字投票を含む)を認めること、⑤ガイドヘルパーの増員、⑥手押し式信号機付近の重点除雪」に加え、会場から提案があった「①新しい身体障害者手帳の記号番号を大きく印字して欲しい。」という要望事項について、審議が行われ、



視覚分科会の議長団

何れも提案通り、明日の全体会議で要望することが決められた。その後、助言者(北山主任)から要望事項に対するコメントがあり、分科会が終了した。

障がい者一〇番法律相談

午後一時から「障がい者一〇番法律相談室」が開設され、札幌弁護士会所属の水沼 功弁護士による相談が行われた。この相談には、生活保護受給中の通院等のための自家用者使用の相談などが寄せられた。

大会二日目

全体会議

二日目の大会は、初めに各分科会議長団から前日の審議結果が報告され、何れも異議なく採択となり、取り扱いについては、推進委員会で検討のうえ要望することが決められた。続いて、大会宣言(案)が佐藤芳太郎運営委員から、また、大会決議(案)が篠山准子運営委員から提案され、満場の拍手で採択された。

(大会宣言)裏面に掲載

(大会決議)裏面に掲載

式典及び表彰式

午前十時三十分から阿部利雄副大会長(代理)吉澤一廣副大会長(代理)の司会のもと、式典が開幕した。続いて、全員で国歌斉唱、黙祷を行った後、主催者として赤坂勝大会長から受賞者の方々へのお祝いと感謝の言葉があり、その後、「協会として



吉澤一廣副会長

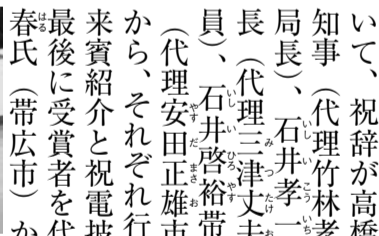
も、本大会で昨日から議論されたことを踏まえ、今後の協会のあり方というものも、今一度、検討していかねばならないのではないかと考えています。いざいざにしてみ、みんなで「共生社会」を実現するため、皆様方とは是非、一緒に運動、勉強していききたい。」と挨拶があった。続いて、米沢則寿帯広市長から歓迎挨拶があった。その後、表彰式が行われ竹林



孝十勝総合振興局長から北海道善行賞(知事表彰)の自立更生者四名と自立更生者三名に表彰状と記念品が、続いて赤坂勝会長から会長表彰の自立更生者五名と援護功労者十八名に表彰状と記念品が贈られた。続いて、祝辞が高橋はるみ北海道知事(代理)竹林孝十勝総合振興局長(代理)石井孝一北海道協議会議長(代理)三津丈夫北海道協議会議長(代理)安田正雄市協議会議長(代理)から、それぞれ行われ、その後、来賓紹介と祝電披露が行われ、最後に受賞者を代表して谷口吉春氏(帯広市)から「私たちの自立更生生活動や援護活動が認められ表彰を受けたことは、身に余る光栄であり、皆様方のご支援のおかげと心から感謝します。これから障がい者の福祉の向上のため、なお一層の精進を重ねてまいります。」と謝辞が述べられました。



会長表彰の受賞風景



知事表彰の受賞風景

▼次期開催地あいさつ
続いて次期開催地の千歳身体障害者福祉協会伊東ミツ子会長から、還暦の第六十回目となる来年は、是非、千歳市に来ていただきたいと挨拶があった。

▼万歳三唱・閉会
その後、帯広市社会福祉協議会若林宜龍会長の万歳三唱があり、最後に政田一美副大会長の閉会のことばで、第五十九回全道身体障害者福祉大会の全日程が終了した。

社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬
札幌市中央区南三条西六丁目
電話代表(〇一)二四一〇九八六番

札幌義肢製作所旭川支店
支店長 舛田裕司
旭川市五条通十二丁目
電話(〇一六六)二四一五三三番

有限会社 野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(〇一)二二二一四〇六番

有限会社 河笠義肢製作所
小樽市長橋四丁目七番二十九号
電話(〇一三四)二二一三〇四二番
(〇一三四)三三二一七〇〇二番

株式会社 馬場義肢製作所
函館市豊川町一五〇一七
電話(〇一三八)三二二六五五番
札幌市北二条七丁目二番
電話(〇一)七四一三〇三番
室蘭市母恋北町一三〇六
電話(〇一四三)三二二五九九番
釧路市富士見一五〇の九
電話(〇一五四)四一三五四六番

株式会社 田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(〇一)二〇一七二七七番
帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(〇一五五)二二四八九番

有限会社 三愛義肢製作所
岩見沢市志文町九二三番地二六
電話(〇一)二〇二二二六四三番
帯広営業所 帯広市大川町三〇番地一
電話(〇一五五)二四一五七七番

株式会社 協和義肢製作所
岩見沢市三条西八丁目
電話(〇一)二〇二二二七三九番
FAX(〇一)二〇二二四一七六一八番

有限会社 美唄義肢製作所
代表取締役 松田清勝
美唄市東七条北四丁目七番九号
電話(〇一)二六六二一〇九三三番

有限会社 千葉義肢製作所
釧路市若草町七番二一
電話(〇一五四)二二一〇三八一
FAX(〇一五四)二二一〇九八八番

「協力」町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。

第五十九回全道身体障害者福祉大会帯広大会宣言

十勝平野の中心にある田園都市、澄み切った青空、豊かな緑、きれいな水を守り、低炭素社会の実現に向け先駆的な取り組みを進める環境モデル都市でもあるここ帯広市において、第五十九回全道身体障害者福祉大会を、多くの方々の協力のもとに開催できたことは大きな喜びです。

北海道は、いわゆる「北海道障がい者条例」を制定しました。障がい者に対する差別や不利益な扱いを禁止するとともに、障がい者に対する虐待を禁止し、これらがあつた場合にはその是正や改善指導を行うこととなりました。

国においては新政権のもと、「障がい者が当たり前に地域で暮らし、地域の一員としてともに生活できる社会を作る」ために福祉制度の抜本的見直しに着手しました。すなわち、障がい当事者を含む「障がい者制度改革推進会議」において、様々な課題について検討が進められており、「障がい者差別禁止法」、「障がい者虐待防止法」を制定する機運も高まっています。

いまこそ私たちは、どんな障がいがあるうとも、どんなに障がいが高くとも、社会の一員として迎えられ、その人の望む形の生活が保障されることを訴えます。

北海道身体障害者福祉協会に結集する私たちは、各障がい者団体や市民団体との連携を深めつつ、その実現のために行動することを誓い、宣言します。

平成二十二年十月十七日
第五十九回全道身体障害者福祉大会帯広大会

町村協会だより 52 (2) (網走地区滝上町)

親睦研修旅行の旅(前号からの続き)

前号に引き続き、網走地区滝上分会(小谷孝一分会長)の親睦研修旅行について紹介します。

九月十四日、身体障害者滝上分会の会員参加者二十三名の期待と楽しみに、一路、定山溪へと出発。途中、「滝野すずらん丘陵公園」を見学したり、ゆるやかな登り道を歩いて全景を満喫。午後四時には定山溪に到着。和やかに夕食の宴、賑かな宴会を終える。旅行二日目は、今回の旅の第一の目的地「藻岩山慰霊碑」戦没者のお参りの墓誌の前に立つ。激戦地沖繩で戦死したわが町出身者が四十一名祀られ、今回の旅行者の中には、血縁又は知人の名が刻まれている。幾度も撫でさすって、現在の平和の礎となった方々に心から祈りを捧げた。昼食は「アサヒビール園」へ。ほんのり頬を染めた人も皆で二時半には北海



札幌アサヒビール園見学後

清水美知江さんの感想文(続)

総務課片山様の案内にて説明して頂き、見学しました。この広い重々しい雰囲気の場合に、わが北海道の進むべき道が決められ、豊かな北海道となるべく、知事様又議員の人達が議案を進めて行くのだと、少し緊張を感じました。知事席にふれ

大会決議

- 一 障害者権利条約批准に向けた国内法制の整備を要望する
 - 一 施設から地域生活への基盤整備を要望する
 - 一 障害者相談員制度の充実強化を要望する
 - 一 障がい者の就労・雇用支援の拡充を要望する
 - 一 所得保障の充実を要望する
- 以上決議する。
- 平成二十二年十月十七日
第五十九回全道身体障害者福祉大会帯広大会

「町村協会だより」への投稿を募集

このコーナーは、町村協会の皆さんで作るコーナーです。未だ投稿されてない町村協会の皆さんからのお便りや写真をお待ちしています。

文芸

短歌

由仁町 中嶋つぎ子
山落ちる日。輪囷に近く晩秋の雪ふり虫の乱舞す時か
姉見舞ふ行く径すがら雪虫の我れ頼撫でし払えど虚し
街路樹の紅色深かしナナカマド行き交ふ野鳥の風景見たり
伊達市 吉川 次子
銀婚の記念にもどめし柱時計
ボンボンと真夜の時打つたつぷりとボディソープを泡だてて
術後の傷にそおつと触れる
点滴をしつつ目に入る窓越しの熊笹ゆらすは北風の指揮
隣家の双子姉妹の連弾が
少し乱れて聞こえる真昼
預かりし嬰兒背負えば遠き日の乳の匂いす娘や孫の
出口さがすマグマのごとし携帯が

不意に鳴り出す「玩具のチャチャ」
消え残る夜明けの空のひとつ星
父かと思ひ母かと思ふ
運命を開く扉は重すぎて
この世の光は見えずで見えぬ
逃げ水を追いかけて幼いピョンピョンと
跳ねてゆきおりの丘の農道
通せん坊しているごとくタンポポの綿毛をつけて蜘蛛の巣光る
室蘭市 池内満里子
夏の風邪長引く程に我が心
海霧の中へと吸い込まれゆく
むし暑くぬれぬ夜に開く窓
甘くせつない牡丹の香り
少年の果てしない夢そつとのせ
入道雲はみるみる広がる
釧路市 松橋 幸子
庭の花霜に枯らすは惜しかりて
樽いっぱいに取り込む夕べ
ひまわりを辞典に挟み二十日経て
見ればうれしき我流の押し花

印刷・クリーニング・縫製のご用命は

社会福祉法人 北海道リハビリ

障害者支援施設
リハビリ・エイト

身体障害者授産施設
リハビリ・クリーナース

障害福祉サービス事業所
リハビリ・おおぞら

障害者支援施設
札幌ワークセンター

地域活動支援センター
ポブルス

障害福祉サービス事業所
セルブさっぽろ
(ウエルプラザやまはな)

施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください
法人事務所 北広島市西の里507番地1
TEL (011) 375-2111 (代) FAX (011) 375-4051

安心と実績で全道をネットする
認定補聴器専門店
岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉道町8-20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1

室蘭店 室蘭市中島町3丁目25-1 TMビル

お問い合わせ 0120-231-282
本社 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目東南カド

リフト付き車両での移送サービスと障害者ヘルパー派遣
介護保険に関するお問い合わせ、お申し込みは

HOP ホップ障害者地域生活支援センター

札幌市東区北二十条東一丁目五十一番地西ビル一階
TEL (011) 748-1632
FAX (011) 748-1631

クリーニングは光生舎

光生舎 クリーナース
光生舎 ワークショップ
光生舎 エルム・ライニング
光生舎 ライト・スラザ
光生舎 メディック・エル
光生舎 クリーン・セブン
光生舎 スラザイン・サッポロ
光生舎 虹の星
光生舎 虹の星デイサービスセンター
光生舎 フーレビル
ケアハウス すいこう

○施設の利用を希望される方は
お気軽にご相談下さい。

連絡先 (社)北海道光生舎
電話 0125-32-3221
電 担 厚生部

リフト付貸切バス
ハートケア福祉タクシー(ストレッチャー対応)

株式会社 ライフパス

札幌市北区篠路一条八丁目六番三〇号
電話 (011) 771-1471
FAX (011) 771-1475

有限会社 岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘二丁目八番地八
電話代表 (011) 261-1550 番



道庁赤レンガ前にて

て見たり、記憶の人の席に座つたりしてお話を聞きました。次に秘書室次長の大川様のお話の中に、網走管内より四名の議長が選出された由、現二十七代石井孝一議長様の名刺を頂き、応接間、議長室を見学し、登りの急な階段を経て二階の展示室へ入ると、各国の土産物等がまた飾られていました。日程の都合により当初の予定の議会見学は果たされず残念でしたが、

種々学ぶことが多くあり、代表の方々の今後の御活躍を念じながら、赤レンガ前にて記念撮影

を終え二泊目の山溪苑へと向かいました。盛り沢山なる知識を貪欲にメモし頭に詰め込んだはずの旅も、夜のくつろぎとなると賑やか下戸なる私ものしい一夜を過ごしました。

三日目の朝温泉に向う途中の景色は、早くも黄葉を見せ芒穂の揺れも見られました。途中、二ヶ所のダムが有り、螺旋状の道は最新の技術を駆使した方法かと、又長い路のかたへの絶景に驚きながら再度訪れることもなからうと記憶にとどめながら、小樽へと。小樽でかの有名な「北一ガラス」また「かま菜」にて土産を調達する人あり。

砂川にて昼食のあと一路帰途につきました。旅行の車中、加藤さんの雄弁と博識に盛り上がり、たのしい行程でしたが、今回の旅行を企画された小谷分会長その他の役員の方々に感謝申し上げ、また来年も元気で旅が出来るように、私たちが出来ることは頑張つて資金の調達の一端でもと思つて話し合い、帰宅致しました。

恵庭市 西島 明
行く秋や電話も鳴らぬ誕生日
不揃ひの結び傘寿の冬囲
木枯や堰切れしごと老い深め
室蘭市 池内満里子
近く犬の吠れの泪空澄めり
旅人になりたし今朝のウロコ雲
過去帳に犬も入れたし秋彼岸
釧路市 松橋 幸子
戴きしポリポリ茸味噌汁に
深む秋伸びる靴下の店に入り
僅かなる黒豆の莢叩く棒
薄氷踏みて賑やか登校児
冬帽子被りて友と買物に

北広島市 本多 司
ネット網マル秘泥鰌が踊り出し
閣將軍乗らぬ民主の手術台
晩秋に落葉囁く風の音
目を皿に這い付くばって茸狩り
江別市 戸原 寿夫
いつも留守妻に感謝我が人生
ゆっくりと雲の流れで稲の花
日盛りの匂ひ家まで持ち帰る
落し文誰も気づかず過ぎにけり
うしろより背を押す風も秋となり